山村塾は都市と農山村の住民が一緒になり、環境にやさしい米づくりや
豊かな生態系の森づくりを通じて山村の環境を守るグループです

2025年3月号

こめづくり もりづくり ひとづくり

山村塾通信

「楽しくなくなったらやめよう」

「作業効率は１人でするのと変わらないかも知れないけど皆ですれば楽しいので、効率は求めず、むしろ楽しくなくなったらやめよう。」「お昼ご飯は豪華なごちそうを準備するのではなく、自分たち農家が普段食べている野菜中心の料理を一緒に準備して味わおう。」

そんな会話をしながら、椿原ファミリー、宮園ファミリー、毛利ファミリーの３家族が山村塾の会員募集を呼びかけたのが 1994 年のことです。

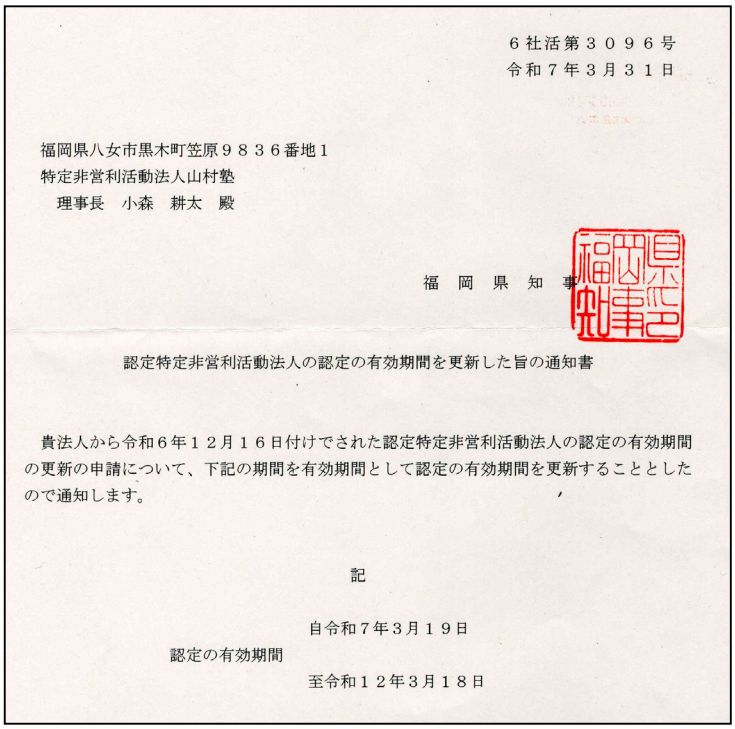
水や空気を守り、安全でおいしい食べ物を育む田んぼや山々を守るには、農山村で暮らす農家だけでなく、まちで暮らす人も一緒に汗を流して作業を行い、活動を通じてお互いのことを知り、考えていくことを目指しました。

楽しくなくなったらやめようと言いつつも、参加する人が増え、取り組みが広がるに連れて、やりがいも責任も大きくなってきました（簡単にはやめられない！）。そして、ヤマヤマ基金というスタッフを確保するための寄付の仕組みをつくり、事務局スタッフを確保、NPO 法人化、認定 NPO 取得というように徐々に体制整備が進んできました。正直、仕組みやルールというのは面倒くさいし、堅苦しい部分があります。しかし、関わる人たちは変わり、年も重ねていきますので、山村塾の活動を楽しく有意義に続けていくために、仕組みやルールを整え、いろいろな人に理解してもらえて、誰もが参加しやすい場になることを目指してきました。

稲作コース、山林コースの活動は、毎年おなじようなことの繰り返しではありますが、気候や参加者の変化もあり、同じようにはいかない部分もあります。これまで多くの方々の協力もあり、少しずつ経験や知識が蓄積され、スムーズな運営ができるようになってきました。ありがたいことです。

この度、活動コースの「会員のしおり」と「運営サポーターマニュアル」の ver.1 を整備しました。これからも楽しく有意義な活動を続けていきたいと思いますので、一緒に山村塾の仕組みを考えていきましょう！（小森耕太）

※「会員のしおり」と「運営サポーターマニュアル」は、サンライズ財団環境助成の支援を受けて作成しました。ご支援ありがとうございました。



６社活第３０９６号
令和７年３月３１日

福岡県八女市黒木町笠原９８３６番地１
特定非営利活動法人山村塾
理事長　小森　耕太　殿

福　岡　県　知　事

認定特定非営利活動法人の認定の有効期間を更新した旨の通知書

貴法人から令和６年１２月１６日付けでされた認定特定非営利活動法人の認定の有効期間の更新の申請について、下記の期間を有効期間として認定の有効期間を更新することとしたので通知します。

記

認定の有効期間　自令和７年３月１９日
至令和１２年３月１８日

認定 NPO 法人の認定更新通知書

※令和 7 年 3 月 31 日付をもって認定 NPO 法人の 5 年に一度の更新が認められました。皆様の継続的なご寄付に感謝申し上げます。

稲作コースより

2025 年最初の行事は「左義長」です。前日から川を渡して竹を運び、棚田に高さ約 9m の竹やぐらを組みました。竹やぐらは最後まできれいに燃えて、幸先の良い 1 年のスタートとなりました。

3 月は、棚田の石垣草取りを 2 回行いました。この時期に草を根っこから取っておくと、夏の草刈りがぐんと楽になります。地道な手作業ですが、大人数で行うと驚くほど早く進みます。今回は 1.5 段分の石垣がきれいになりました。そしてお昼には、餅つきを行いました。つきたてのお餅はふわふわとろけるようで格別でした。

今年度もおいしいお米ができるよう、棚田で一緒に汗を流しましょう！（原 愛子）

日付	行事名	会員	一般	スタッフ	計
12/1	しめ縄づくり	23	0	10	33
1/11	左義長準備	17	1	12	30
1/12	全体行事「左義長」	49	5	14	68
3/2	棚田の石垣草取り①	19	1	5	25
3/23	棚田の石垣草取り②	15	0	4	19

石垣がとってもきれいになりました！（3/2）

迫力満点の左義長（1/12）

農家の声

私のこのコーナーの担当は毎年 3 月で、誕生月でもあり気合いが入ります。2 年前は「生前葬を行った」、「終活やりました」の内容でした。

ビニールハウスのない我が家では、2～3 月は農閑期ですが、ここ数年は地域で労務班を作り、4～6 名程で荒廃地の伐採、片付け作業をし、広葉樹を植林、そして夏場の下草刈りにより豊かな里山の景観づくりへの取り組みを実施、毎年 2,000～4,000 ㎡が広葉樹の森へと変わりつつあります。息子たちへ現場を任せ、冬場の作業として寒いなか地域の仲間と楽しくやっています。

生前葬の際励まされたのが、「あんたは長生きするよ！」でした。激励なのかは別として、70 代をどう生きるか。世の中は定年延長や年金受給繰り下げとかで超寿命化社会への対応策として議論され、変化も見え始めています。そのためにも心身共に健康な状態でいなければです。「規則正しい生活リズム」。平凡ですが、何より大切かなと痛感しています。四季菜館へお越しの際は、17 時より前にお酒タイムは禁物ですよ。（誘わないでください）

～追伸～

お米が暴騰していますね！異常なまでも…。第一次産業（稲作農家）としては、よしよしというところです。一般の農家は生活苦と、後継者不足で廃業していく状況下、再生産可能な価格帯になれば、後継者不足解消かなと考えますが、なかなかそう簡単には解決できないと思います。じゃあどうすれば…。

結論、食べ物を大事にしましょう。山村塾会員さんで米づくり体験をされたらわかるでしょう。米、野菜、手間がかかりますよね。貴重な食物の生産現場を経験された皆様だからこそ伝えていきましょう。おやつは「おにぎり！！」ですよね。

寒暖差が厳しいこの時期、健康に留意されてください。またお会いしましょう。

百姓
椿原 寿之

山林コースより

11 月は、山村塾の森づくりフィールド「ケヤキ林」のアカマツ植林地で、手入れ作業を行いました。2 年前の除伐のあとに伸びた雑木を伐り、枝や丸太を林外に運び出す作業を終えると、アカマツが喜びそうな明るい環境になりました。このアカマツ林は尾根部に位置しており、木々の合間から耳納連山を望むことができます。林内ではサンショウウオにも出会うことができました。

2/16 には、10 月に続き「ケヤキ林中長期ビジョンづくりワークショップ」を開催しました。九州大学朝廣研究室による調査・研究発表を受け、これからのケヤキ林について意見を交わしました。今後 10 年程かけてエリアごとに全層間伐を行い、様々な樹木が育つ森を目指していくとともに、散策路の整備や、間伐した材の活用などについて、引き続き皆さんと考えていけたらと思います。

（原 愛子）

日付	行事名	会員	一般	スタッフ	計
11/24	森の手入れ	3	2	4	9
2/1	しいたけ菌打ち①	17	0	5	22
2/2	しいたけ菌打ち②	8	5	5	18
2/16	ケヤキ林中長期ビジョンづくりワークショップ	3	2	9	14
2/23	茶畑手入れとしいたけ菌打ち	15	2	4	21
3/9	炭焼き	11	2	3	16

在来茶園の
手入れに挑戦！
（2/23）

眺めがよく、気持ちのいいアカマツ林（11/24）

笠原も寒かった冬が過ぎ、菜の花や梅の花が咲き誇り春の装いとなっています。

最近の話題といえば、米・米・米。米不足と野菜の高騰。家計を預かる者としては頭を抱えてしまいます。実はコメ問題は、米を作っている我が家にも…。昨年、イノシシ被害で収量が少なかったのが大きな痛手になっています。今年は、対策を練って同じ失敗を繰り返さないようにしなければと思っています。

さて、先日 3/9 の炭焼きで山林コースの今年度の行事が終了しました。山林コースのイベントは 2 月、3 月に椎茸の菌打ちから炭焼きと続きました。2/1・2 の菌打ち、2/23 のお茶畑の手入れと椎茸の菌打ちには、寒い時期の作業にもかかわらず、子どもさん含め 15 人程ずつ参加いただきました。お茶畑の手入れでは、5 月のお茶つみミニワークで摘むお茶畑の通路の枝切りをして頂きました。今年は、ずいぶん通りやすくなり作業もしやすくなることでしょう。今年の椎茸の総植菌量は、45,600 個で、イベントで約 3 分の 1 の菌打ちをして頂きました。1 年半後には沢山の椎茸が収穫出来ることでしょう。炭焼きは、天気も良く小春日和となりました。子どもたちも顔を黒くして頑張ってくれたようでした。私は食事担当なので、自家製の野菜や加工品を無駄なく使い献立を考えています。お昼と農産物を渡す際の皆さんとの短時間のおしゃべりを楽しんでいます。

今後は、菌打ちの終わった原木を林内に立てたり、お茶摘みの準備でより一層忙しくなりそうです。

4 月の顔見せ会でまたお会いしましょう。まりこさんと美味しいご飯を作ってお待ちしてまーす。

山林コース
宮園 佐津美

山村塾＊活動レポート

CSO ラーニング制度インターン

…SONPO 環境財団が主催する、環境 NPO・NGO へのインターンプログラムに参加したお二人のレポートです。

6 月から 1 月までのインターンは本当にあっという間でした。森林作業や棚田での活動、チェーンソー講習など、普段体験できないことに挑戦でき、とても充実していました。最初は慣れないことばかりでしたが、山村塾のみなさんや地域の方々に暖かく迎えていただき、楽しく学ぶことができました。

特に印象的だったのは、地域の方や参加者の皆さんとのイベントでの交流です。みんなで汗を流した後のごはんは格別で、自然の恵みを実感しました！自然の中で身体を動かすことで、心も身体もリフレッシュでき、忙しい日々の中で良い気分転換になっていました。

笠原までの移動は大変でしたが、それ以上に得るものが多く、大満足のインターンでした。山村塾の皆さん、本当にありがとうございました！また遊びにいきます！（叶沛芸）

山村塾での 8 か月間のインターンは、かけがえのない経験となりました。自然の中で地域の方々と活動し、森林管理や農作業、イベント運営などを通じて、多くの貴重な学びを得ることができました。特に、地域の方や参加者の皆さんとの交流から、地域社会の一員としての自覚と責任感が芽生えたことが印象的でした。また、自伐林家育成研修では、林業用機械の安全管理の重要性を認識し、安全意識の向上につながりました。

課題としては、目標設定と時間管理、専門知識の不足を実感したので、今後は関連分野の専門知識を深め、課題を克服し、持続可能な地域づくりや環境保全に貢献できるよう成長していきたいです。（李俊逸）

日帰りボランティア

11 月～ 3 月の期間に計 7 回開催し、延べ 24 名の方々に参加いただきました。梅林の剪定・片付け、薪づくり、棚田の石垣草取りなど冬の仕事が順調に進みました。ありがとうございました！

◆ 4 月以降も、月に 2 回程度活動を行います。6 ～ 7 月はらっきょう・田んぼ仕事を予定しています。詳細はホームページをご覧下さい。

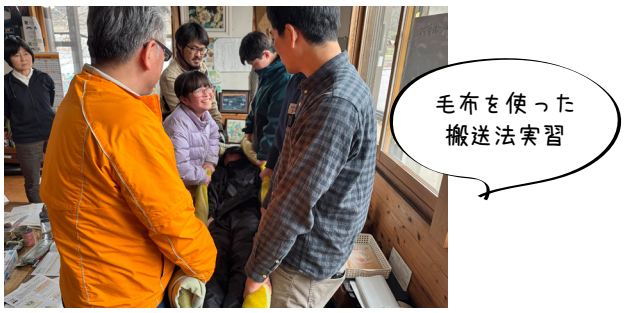
えがおの森の薪ストーブ用薪づくり

その他の活動報告

日付	活動内容	会員	一般	スタッフ	計
2/9	里山ミニワーク「みそづくり」	13	0	6	19
2/16	活動コース安全講習会	8	4	9	21
3/8	チェーンソー基礎講座 基礎編	2	6	3	11
3/15-16	宮永茶屋ワーク	0	2	5	7
3/22	チェーンソー基礎講座 レベルアップ編	2	5	3	10

活動コース安全講習会

2/16 に、山村塾スタッフ、農家、参加者の皆さんと安全講習会を行いました。活動中にケガや熱中症などが起きたときにどう対応するか、図上演習や応急手当の実習を通して学び合いました。緊急時には、まずはスタッフや周りの人々に伝え助けを呼ぶことが大事だと確認できました。



連載ミニコラム vol.1

「地球環境を破壊しているのは私たち人間です」

環境の破壊と言えば、1970 年代の大気汚染、水質汚濁・汚染、土壌汚染の公害から始まり、オゾンホールの発生などがあった。現象として不都合な事が出てくるたびに科学技術により改善されてはきたが、完全に解決してはいない。

そして今、皆さんご存じの通り、地球温暖化による気候変動が目に見えて私たちの生活を脅かしている。しかし、どれだけの人が本当に危機感をもっているだろうか。パリ協定 COP21 では、気温の上昇を産業革命以前と比較して 2.0°C（努力して 1.5°C）に抑えることを目標にしている。日本の年平均気温は、2 年連続で観測史上 1 位を更新、日本の年平均気温（2020 年までの 30 年平均）を 2023 年 1.29°C、2024 年 1.48°C上回った。平均気温のトップ 6 は 2019 － 2024 年の 6 年間に集中している。

今冬の局地的な豪雪や季節外れの暖かさと寒さも、北極の温暖化が極端に進み偏西風の蛇行が激しくなったことと、海面水温の上昇（日本近海の上昇は特に著しい）が原因である（三重大学の立花教授による）。

温暖化による気候変動、気候危機は待ったなしである。気候変動は様々なことに影響を及ぼしている。便利で快適な暮らしをしている私たちが加害者であることを自覚しよう。

私たちは何をしたらよいか？何ができるか？まず温室効果ガス、特に二酸化炭素排出削減だ。

▶生ごみをコンポストにする…資源として循環させる、燃やすと化石燃料を消費し CO 2 排出
▶太陽光発電へ切り替え、できれば蓄電池設置
▶車はハイブリッド車や電気自動車へ、相乗り、公共交通機関利用、近い所は自転車・徒歩
▶節電に努める・食品ロスをなくす
▶５R の実行：リデュース・リユース・リサイクル・リフューズ・リペア

私たちの子や孫のためだけでなく、地球上の生物のためにこれ以上環境を悪化させない努力をしよう。地球に住まわせてもらっている地球の一員として。

文 / 木村 陽子

山村塾副理事長、山村塾会員暦 26 年目。
福岡県地球温暖化防止活動推進員としても活動中。

山村塾 今後の予定

日程	行事名
4/26（土）	ボランティア向け草刈機講習会
5/3（土）～4（日）	里山ミニワーク「お茶つみ」
5/11（日）	稲作コース「稲の種まき①」
5/17（土）～18（日）	里山ミニワーク「棚田の草刈り」
NEW! 5/24（土）	稲作前日ワーク「棚田の草刈り」
5/25（日）	稲作コース「稲の種まき②」
5/31（土）	第 12 回 通常総会
6/1（日）	山林コース「森の手入れ・下草刈り①」
6/14（土）･6/15（日）	稲作コース「田植え①・②」
6/22（日）	稲作コース「鴨進水式」
NEW! 7/12（土）	行事前日ワーク「棚田の草刈り」
7/13（日）	稲作コース「田の草取り①」
7/27（日）	山林コース「森の手入れ・下草刈り②」
7/31（木）～8/2（土）	山村たんけんキャンプ（子どもキャンプ）

▶行事・里山ミニワーク等の開催について、最新情報はホームページ、メールニュースにてご案内します。
※イベント情報のご案内を、FAX や郵送で希望される方は、事務局までお知らせください。

2025 年度年間予定を
ホームページに掲載しています→

山村塾の SNS
発信中！

Facebook　Instagram

編集後記
この春は寒い日が多かったので、春の花々がゆっくり咲いて、長く楽しめています。笠原の風景は、ただいま桃源郷のように綺麗です！えがおの森では 3 月の初めに久しぶりに子ヤギが 2 匹生まれて賑やかな日々です。（原 愛子）

↓こもち（白♀）

あられ（茶♂）↑

事務局より

会員募集中！

■ NPO 会員：山村塾の趣旨に賛同し、会員として私たちの活動を継続的に応援してくださる NPO 会員を募集しています。総会での議決権を持つ「正会員」と、議決権を持たない「賛助会員」があります。
■活動コース会員：いっしょに田んぼや山で働く活動コース会員（稲作・山林、稲作、稲作 30kg、山林、古里）をいつでも募集しています。

ご寄附のお願い

山村塾の活動は、皆様からのご寄附で支えられています。山村の暮らしに学び、山村の環境を守る取り組みに、ぜひご協力をお願いいたします。
【山村塾は「認定 NPO 法人」です】
山村塾へのご寄附は、確定申告をすることで寄付金控除の対象となります。

▶ご寄附の方法

■郵便振込口座から
加入者名：特定非営利活動法人山村塾
口座番号：０１７９０－３－１６９３９８
■銀行から
・銀行名：ゆうちょ銀行　店名：一七九（店番：１７９）
口座：当座　０１６９３９８
・銀行名：福岡銀行　黒木支店
口座：普通　１０８５３９８
特定非営利活動法人山村塾 理事長 小森耕太
※銀行からお振込みされた方は、お名前とご住所またはメールアドレスをお知らせ下さい。
■農産物を買う
会員の方が、椿原家と宮園家の農産物・林産物を購入されると、その一割がヤマヤマ基金へ入ります。
■古本で寄付ができます！
古本や DVD を「きしゃぽん」にお送りいただくと、買取金額が山村塾への寄付となります。ぜひご協力をお願いします。（古本集荷依頼 TEL：0120-29-7000、山村塾に寄附したい旨をお伝えください。）

会員状況（2025 年 3 月末時点）

▶ NPO 会員
【正会員】　個人：32 名、団体：4 団体
【賛助会員】　個人：98 名、団体：2 団体
▶ 2023 年度活動コース会員
稲作・山林：5 名、稲作 30kg・山林：6 名、稲作 23 名、稲作 30kg：12 名、山林：13 名、古里：11 名
▶笠原棚田米サポーター
112 名（個人 109 名、企業・団体 3 名）

寄附者（2024 年 11 月～ 2025 年 3 月）

▶個人からのご寄附
2024 年 11 月 1 日から 2025 年 3 月 31 日までに、62 件 906,872 円のご寄附を頂きました。
▶企業・団体からのご寄附
・たからばこ職員有志一同様より 3,000 円のご寄附をいただきました。（11/5）
・古本募金きしゃぽん様を通じてご寄附をいただきました。（12 ～ 2 月：計 5,672 円）
・あいおいニッセイ同和損害保険株式会社様から、300,000 円のご寄附をいただきました。（12/19）
・OSUSO 様からご寄附をいただきました。（11 ～ 3 月：計 10,669 円）

＊ご寄附のお礼＊

2024 年度は、認定 NPO 法人の要件となる PST 判定に該当するご寄附を【131 名（見込み）】の方から頂きました。（3/31 現在）
PST とは、認定 NPO 法人であるための条件の一つで、毎年 100 名以上の方に 3,000 円以上のご寄付（賛助会員会費含む）を頂く必要があります。
おかげさまで、今年度も目標を達成することができました。皆様のご支援とご協力に感謝申し上げます。

山村塾の事務局スタッフ募集中！

認定 NPO 法人山村塾では、ともに学び働く事務局スタッフを募集しています。
棚田や山林といった農山村環境の保全を目指し、人と自然、人と人、地域をつなぐ仕事です。イベントや研修の運営、農作業や山仕事など、幅広い仕事に関心のある方は、ぜひホームページをご覧ください！
スタッフ募集 詳細ページ▶
https://sansonjuku.com/news/archives/264

＼お問い合わせ大歓迎！／

山村塾（こめづくり もりづくり ひとづくり）　**認定 NPO 法人 山村塾**
〒 834-1222　福岡県八女市黒木町笠原 9836-1
TEL・FAX 0943-42-4300
Email：info@sansonjuku.com **HP** https://sansonjuku.com
FB @ sansonjuku　**Instagram** @sansonjuku_official

発行者：小森 耕太
編集者：原 愛子

※山村塾は認定 NPO 法人です。山村塾へのご寄付は寄付金控除の対象となります。

最新情報はホームページより
山村塾　検索